

病院概要

名称: JA北海道厚生連札幌厚生病院
設立: 昭和18年3月10日
病院長: 髙 修平

診療科目 / 27科

内科 / 糖尿病内科 / 血液内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / 脳神経内科 / 小児科 / 外科 / 呼吸器外科 / 消化器外科 / 心臓血管外科 / 整形外科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 産婦人科 / 耳鼻咽喉科 / 眼科 / 放射線科 / 麻酔科 / リハビリテーション科 / 緩和ケア内科 / 化学療法内科 / 精神科 / 病理診断科 / リウマチ・膠原病内科 / 腎臓内科

研修医出身大学 (H27~)

旭川医科大学 / 札幌医科大学 / 北海道大学 / 弘前大学 / 岩手医科大学 / 埼玉医科大学 / 杏林大学 / 順天堂大学 / 東京女子医科大学 / 東邦大学 / 信州大学 / 大阪市立大学 / 神戸大学 / 京都大学

研 修

- 地域研修(必修4週)
鶴川・摩周・常呂・美深・まるせつぶ・ゆうゆう・沼田・苫前
- 救急研修(自由選択)
北大・帯広

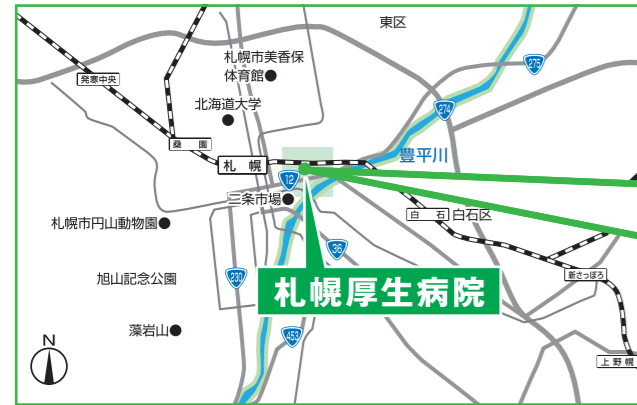
札幌近郊の巡回ドック
(日帰・一泊)数回
人間ドックの診察 数回



処 遇

身分: 常勤嘱託医
勤務時間: 8:30~17:00(時間外勤務あり)
研修医手当: 1年次/月額 400,000円(時間外手当含む)
2年次/月額 430,000円(時間外手当含む)
住宅手当: 20,000円(対象者のみ)
日当直手当: 1回/13,400円(給与規定に基づき支給。指導医あるいは上級医とともに進行)
通勤手当: 定期乗車券(月額)の実金額を給与規程に基づき支給
休暇: 土、日、祝日、および会の定めた休日(年末年始12/30~1/3)
年次有給休暇(1年次計10日、2年次計11日)
社会保険: 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
損害賠償: 病院賠償保険に加入
勤務医賠償責任保険の加入は任意加入
健康管理: 健康診断 年1回 / HBワクチン接種

研 修 活 動: (1)研究発表
内科学会(地方会)や農村医学会あるいは研修科の関連学会などで発表を行う。
又、指導医が適切と認めた場合は論文発表し、専門医資格修得の業績とする。
(2)旅費等の支給
道内: 必要に応じ
道外: 年1回、発表者に限る
(3)医局図書室
文献検索: JdreamⅢ、メディカルオンライン、今日の臨床
そ の 他: アルバイト診療は禁止
研修医室に個人の机や共用の仮眠室・電子レンジ等の設備あり



JA北海道厚生連
札幌厚生病院

〒060-0033 札幌市中央区北3条東8丁目5番地 TEL: 011-261-5331 FAX: 011-271-5320

病院見学お申し込み・各種お問い合わせはこちらのメールアドレスまで

臨床研修委員会

E-MAIL sap-rinsyokensyu@ja-hokkaidoukouseiren.or.jp URL http://www.dou-kouseiren.com/byouin/sapporo/



こちらからサイトへ!!

JA北海道厚生連
札幌厚生病院

初期研修医募集案内



SAPPORO KOSEI GENERAL HOSPITAL

理念

JA北海道厚生連は、
組合員ならびに地域住民の皆様の
生命(いのち)と健康を守り、
生きがいのある地域づくりに貢献してまいります。

私たちの原点は、昭和14年に開設した農民組織による病院「北紋医聯久美愛病院」です。

そして、病院開設から9年後の昭和23年8月、JA北海道厚生連が設立され、以来、半世紀以上にもわたり、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに取り組んできました。

北紋の地の病院からスタートし、北海道とともに一歩ずつ歩みつづけてきた私たちは、現在では15の病院・診療所等を運営する公的医療機関※として、地域ニーズに合わせた医療・保健活動はもちろん、高齢者を支えるための福祉活動にも取り組んでいます。

これからも地域に根ざしたさまざまな活動と「最も信頼され選ばれる病院」づくりをとおして、北海道のすこやかな暮らしに貢献していきたい

私たちJA北海道厚生連は、そう考えています。

※公的医療機関とは

医療のみならず、保健、予防、医療関係者の養成、へき地における医療等一般の医療機関に常に期待することのできない業務を積極的に行い、これらを一体的に運営する特徴を有す医療機関



「最も信頼され
選ばれる病院を目指しています」

当院のプログラムは、プライマリ・ケアに対処し得る第一線の臨床医、あるいは高度の専門医のいずれかを目指すにも必要な基本的技術・診療能力を修得するとともに、患者人格の尊重等の倫理感の修得を含む全人的医療を身につけることを目標としています。

また、良い指導医との出会いが良い医師を育てると考えており、病院見学においてはありのままの日常を見ていただいています。充実した2年間を過ごせるよう支援いたします。











【プロフィール】

院長 髙 修平 消化器内科(肝臓内科) 北海道大学(昭和58年卒)

当院の特色



当院データ

 病床数 516床	 外来患者数 1,122人/日	 入院患者数 357人/日	 内視鏡検査件数 12,915件/年
 手術件数 2,896件/年	 救急患者数 8.5件/日	 常勤医師数 120人	 指導医数 77人

初期研修プログラム

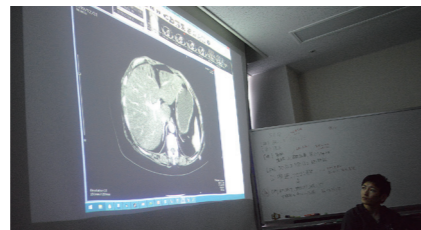
1年次においては、内科系(24週)、外科(12週、救急含。内4週は外科もしくは心臓血管外科より選択)、麻酔科(8週、救急含)、小児科(4週)の基本研修科目を必修としています。特に内科系においては、糖尿病疾患、血液疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、神経疾患、リウマチ・膠原病疾患などを研修医の希望に合わせて適切に研修できるよう、8週ずつ3科をローテイトする方式としています。2年次においては、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(4週)、共済クリニック(共済CL)での一般外来(2週)を必須とし、38週を選択期間としています。また、専門教育のための研修施設認定も多く受け、指導医数も充実していることから可能な限りマンツーマンもしくは複数の医師による指導ができるよう努めています。

Point 1 「コアレクチャー」



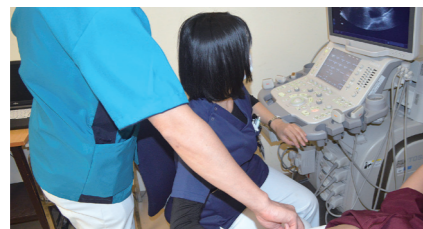
毎月第2.4金曜日の17時15分から開催する講義スタイルの研修であり、身近に遭遇する疾患・病態を中心に、各科指導医が交代でレクチャーを行います。先輩医師が注射や採血の指導役にあったり、臨床工学技士による人工心肺装置の使い方など、診療科以外の方からレクチャーを受けることもあります。

Point 2 「救急カンファレンス」



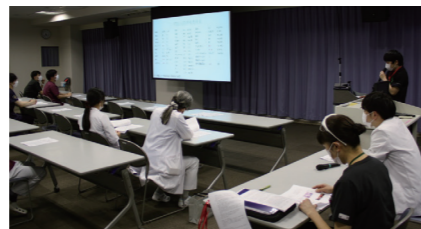
毎週水曜日の朝8時から開催する勉強会です。当直で対応した珍しい症例や対応に困った症例などを研修医が交代で発表しカンファレンスを行います。内科医を中心に様々な診療科上級医が参加しますので、必要な診察や検査、鑑別診断を考え、診断に至るプロセスを経験豊富な上級医が優しく時に厳しく指導します。

Point 3 「超音波エコー実習」



毎月第1.3木曜日17時から18時まで、放射線技師の方にプローブ走査のレクチャーをうけます。腹部・心臓・消化管・甲状腺・下肢静脈などの基本走査を学び、実際の当直でとても役立っています。臨床研修小委員会での研修医の要望により始まった勉強会です。

Point 4 「CPC」



臨床病理検討会で年に数回開催します。臨床医、病理医、その他医療者が一堂に会し臨床経過、検査データ、剖検結果を議論し、疾患の理解を深めることで、未来の診断・治療の参考とします。

年間スケジュール

月	研修行事
4月	臨床研修医オリエンテーション 合同プレゼンテーション(札幌)
5月	日直開始 (最初・2年次について)
6月	
7月	
8月	臨床研修医ワークショップ
9月	
10月	年次有給休暇付与 日本農村医学会 北海道農村医学会
11月	
12月	
1月	JAMEP (基本的臨床能力評価試験)
2月	
3月	臨床研修修了式・送別会

日程未定:
JMECC(内科救急・ICLS講習会)
緩和ケア研修会 ※2年次対象
CPC ※数回

専門研修プログラム

基幹プログラム

内科

連携施設

札幌医科大学附属病院／帯広厚生病院／天使病院／JCHO札幌北辰病院／斗南病院／勤医協中央病院／小樽市立病院／遠軽厚生病院

特別連携施設

網走厚生病院／倶知安厚生病院

1年目サンプル

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳神経内科						リウマチ・膠原病内科		循環器内科		血液内科	

連携プログラム

連携	領域	連携	領域	連携	領域
○	内科	○	整形外科	○	泌尿器科
○	小児科	○	産婦人科	○	放射線科
○	皮膚科	○	眼科	○	麻酔科
○	外科	○	耳鼻咽喉科	○	病理

内科専攻医への

メッセージ

内科専門研修プログラム統括責任者

副院長 静川 裕彦

当院は札幌市内を代表する総合病院であり、内科標準タイプ、サブスペシャリティ重点研修タイプのいずれでも、専攻医のニーズに柔軟に対応できる研修プログラムを用意しています。当院はほとんどの内科系診療科を有していますが、札幌市内外の多くの総合病院と連携していますので幅広い選択肢から研修することができます。また、地域がん診療拠点病院として先進的治療から緩和ケアまで幅広く、全人的な医療が経験できます。

私は札幌厚生病院で初期研修を行い、そのまま専攻医として研修を続けております。当院を選んだ1番の理由は研修の柔軟性や環境の良さです。当院では内科診療科をはじめ診療科が充実しておりスタッフも多いため、幅広い研修生活を送ることができます。また、外病院への研修も含めローテートの自由度も高く、自分の将来を考えたローテートの組み立てが可能で非常に魅力的だと感じます。また、初期研修医から専攻医は通常の医局ではなく研修医室が割当たっているため、業務の空き時間を非常にリラックスして過ごしたり、分からないことを同期と話し合ったりなど、居心地が良いです。更には、スタッフの方々が非常に優しいです。指導医の先生方、秘書さん、看護師さん、関わるスタッフが皆さん優しく、非常に雰囲気の良い環境で研修を行うことができ、円滑な業務に繋がります。充実した研修生活を送れますので、ぜひ当院でお待ちしております。

専攻医を検討中の 研修医へ

内科専攻医

対馬 悠介



プログラム例

年次	12週間	38週間
1年次	8週間 内科① 8週間 内科② 8週間 内科③ 4週間 外科 救急 救急 4週間 麻酔科 4週間 小児科 4週間 自由選択	4週間 産婦人科 4週間 地域医療 4週間 精神科 2週間 共済CL 2週間 一般外来 自由選択
2年次	自由選択	

※外科12週の内、4週は外科もしくは心臓血管外科より選択
※自由選択(各診療科、北大短期研修、帯広(救急)等)

研修責任者からのメッセージ

将来どの診療科に行っても
対応出来る研修を実践しています

研修責任者:臨床研修センター長
副院長 静川 裕彦



初期研修の2年間は医師としてのみならず社会人としての基盤を形成する上で大切な時期です。当院では多様な診療科と多数の指導医による研修と、医師としての素養を身につけるため多職種から成るチーム医療を実践しています。また、医の倫理や医療安全研修など新専門医認定制度にも対応するため充実したプログラムと共に、研修2年目に最大38週を選択研修では皆さんの希望に沿った経験を積んでいただける体制をとっています。

研修医の声



1年次 岡村 峻

おかむら しゅん
出身地/新潟県
出身大学/北海道大学

当院の良さは紹介できないくらいたくさんありますが、中でも2点紹介します。1点目は、初期研修医と後期研修医が同じ研修医室というところです。雰囲気が良く、楽しいこともつらいことも共有しやすく、仕事のことで困ったことがあればすぐに相談しやすい環境になっています。年次を超えて食事に行ったり、遊びに出かけたりとオフも充実しています。2点目は、札幌厚生病院のスタッフ皆さんが親切で優しいところです。上級医の先生方は皆さん教育熱心で丁寧に指導してくださり、コミニカルや事務の方々も分からないことなどを聞くと丁寧に教えてくださってとても働きやすい職場です。雰囲気の良さはパンフレットだけでは伝わらないかと思います。少しでも興味のある医学生の方々は、ぜひ一度見学に来てください。



1年次 鈴木 隆太郎

すずき りゅうたろう
出身地/北海道
出身大学/旭川医科大学

私が当院で研修していて良かったと感じることは、自分の要望に対して柔軟に対応し、付き添っていただける環境があることだと思います。ただ淡々と日々を過ごしても得られるものは少ないかもしれませんが、自分なりの目標を持って行動に移せば、当院のスタッフの方々は必ずそれをサポートしてくれます。私自身、朝に病棟で採血をさせていただくこともあれば、時間外にエコー室に行って技師さんにエコーを教えていただくなど、指導医の先生以外にも多くの方々にお世話になりました。また、研修医室には初期研修から後期研修の先生がいらっしゃる。同期や専攻医の先生方に気軽に相談したり、知識を共有したりできる点も当院の強みだと思います。自分自身ではなかなか経験しない場面に対し、同期や先輩の先生がどのように対応したかを聞いていたところ、後々それが役立つということもありました。簡単にはなりませんが、少しでも当院での研修に魅力を感じてもらえればと思います。



2年次 重堂 多恵

じゅうどう たえ
出身地/北海道
出身大学/旭川医科大学

札幌厚生病院の初期研修プログラムに興味を持っていただきありがとうございます。皆さんはどんな研修生活を思い描いていますか？私は学生時代の実習で病理に興味を持ち、病理医を志すことに決め、研修生活では志望科の研修はもちろん、他科の研修でも将来に繋がる勉強がしたいと考えていました。当院は熱心な指導医が多く、科を超えたつながりも深いので、他科の研修中にも病理との関わりについてご指導いただいたり、病理が関係する疾患で学会発表を経験させていただいたり充実した研修ができました。当院は研修医の人数も多過ぎず、研修の自由度が高いため、1人1人の目標に合わせた研修ができます。また、病院全体の雰囲気が良く、とても働きやすいです。専門性の高い幅広い科が揃っており、出身大学や医局も様々な先生がいらっしゃるの、今後の進路を迷っている方にもおすすめです。ぜひ当院で充実した研修生活を送ってみませんか？



2年次 志賀 直樹

しが なおき
出身地/愛知県
出身大学/北海道大学

当院は消化器疾患を中心に内科症例が多く、様々な検査や治療が日々行われています。そのため内科をはじめとしたどの科の先生方も高い技術力を持っており、良い刺激と勉強になります。また研修医室には初期研修医だけでなく専攻医の先生方もいらっしゃるの、気軽に相談や質問をすることができ、とても心強いです。救急が忙しい病院と比べると救急症例は少ないですが、救急症例の検討会やエコー実習等も定期的に行われており、2年目には帯広厚生病院で救急科を選択できるためそれなりに研鑽を積むことができます。当院は内科専門医の基幹病院にもなっており、立地や雰囲気も良いため札幌で内科を志望している方には特におすすめできるかと思います。もちろん内科以外を志望する研修医も多くいますので、興味を持ちましたら一度見学に来ていただくと嬉しいです。

